

ワークショップ
装いと規範 第5回

日時：2022年8月20日(月)13:30-17:00

Zoomによるオンライン開催

プログラム

13:00-13:10 趣旨説明

帯谷 知可(京都大学東南アジア地域研究研究所)／後藤 絵美(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

13:40-15:50 報告

報告1

戦間期アフリカにおける日本製「シャツ」と「下着」—— 現地の装いと規範の視点から

杉浦 未樹(法政大学)

報告2

総動員体制下における『モンペ』の普及—— 思潮・文化としてのファシズムから考える

森 理恵(日本女子大学)

報告3

異国趣味の残像—— コムデギャルソン(川久保玲)の初期コレクションはどう語られてきたか

安城 寿子(阪南大学)

15:50-17:00 コメントとディスカッション

コメンテータ 後藤 絵美／杉本 星子(京都文教大学)／小形 道正(京都服飾文化研究財団)

主 催：*新学術領域研究「グローバル関係学」(グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて—— 関係性中心の融合型人文社会科学の確立) 研究計画B01「規範とアイデンティティ—— 社会的紐帯とナショナリズムの間」(研究代表者：酒井啓子)

共 催：*東京外国語大学アジア・アフリカ研究所・中東イスラーム研究拠点(人間文化研究機構「現代中東地域研究」事業)

